

特別企画

第2日目 11月12日(金) 10:00~12:00

第1会場 (仙台国際センター2階 大ホール)

みんなで考えるDMAT時代の災害医療 これからも、「災害医療は日赤救護班の使命！」であるため — 日本赤十字社は研修・訓練をどう進めるべきか? —

座長：内藤万砂文 (長岡赤十字病院 救命救急センター長)
古田 昭彦 (石巻赤十字病院 乳腺外科部長)

【演者】

1. 被災地で求められたものは・・・
日本赤十字社新潟県支部事業推進課 谷田 健吾
2. 大災害発生！ 出動したいが、要請が・・・
前橋赤十字病院高度救命救急センター 中野 実
3. 災害時、日赤看護師に期待されているものは・・・
前橋赤十字病院高度救命救急センター 高寺由美子
4. 日赤救護班が日本DMATと一緒に活動してみたら・・・
石巻赤十字病院医療社会事業部 石井 正
5. 日赤DMAT研修会、私たちが目指すものは・・・
武蔵野赤十字病院救命救急センター 勝見 敦
6. 4日間の日本DMAT研修は無理だけれども・・・
八戸赤十字病院救急認定看護師 佐藤 千雪
7. こんなに変わった日本赤十字社の考え方、これまでとこれから
日赤赤十字社救護福祉部 木村 尚文

【指定発言】

日本赤十字社医療センター国内医療救護部 丸山 嘉一

みんなで考えるDMAT時代の災害医療

これからも、「災害医療は日赤救護班の使命！」であるため

— 日本赤十字社は研修・訓練をどう進めるべきか？ —

【座長】内 藤 万砂文（長岡赤十字病院救命救急センター長）

古 田 昭 彦（石巻赤十字病院乳腺外科部長）

【演者】

1. 被災地で求められたものは・・・
日本赤十字社新潟県支部事業推進課 谷 田 健 吾
2. 大災害発生！ 出動したいが、要請が・・・
前橋赤十字病院高度救命救急センター 中 野 実
3. 災害時、日赤看護師に期待されているものは・・・
前橋赤十字病院高度救命救急センター 高 寺 由美子
4. 日赤救護班が日本DMATと一緒に活動してみたら・・・
石巻赤十字病院医療社会事業部 石 井 正
5. 日赤DMAT研修会、私たちが目指すものは・・・
武蔵野赤十字病院救命救急センター 勝 見 敦
6. 4日間の日本DMAT研修は無理だけれども・・・
八戸赤十字病院救急認定看護師 佐 藤 千 雪
7. こんなに変わった日本赤十字社の考え方、これまでとこれから
日赤赤十字社救護福祉部 木 村 尚 文

【指定発言】 日本赤十字社医療センター国内医療救護部 丸 山 嘉 一

《抄録》

テレビをみていた太郎君が救護班出動の支度をしていたお父さんに話しかけました。

太郎 「ねえ、お父さん。テレビに映っているDMAT って、お父さんと同じ救護班のことなん
でしょう。カッコいいよね！」

父 「よく知ってるじゃないか、太郎。でも、ちょっと違うんだよ、お父さんたち救護班と
は。もともと災害時の医療救護活動は日赤が始めたもので、被災地に救護所をつくって
これまで大活躍してきたんだ。『災害医療は日赤のお家芸』といってもいいくらいさ。
DMATは2日間くらい働くと帰ってしまう医療チームなんだ」

母 「この間ワイドショーでみたけれど、DMATは厚生労働省認定の4日間の厳しいトレー
ニングを受けて試験に合格したエリート集団で、被災地で救命医療を担当するって話
だったわよ！ あなた、災害教育って受けたことはあるの？」

父 「うーん。学生時代にあったかな。そうだ、何年か前には日赤ブロック訓練というのに参加して、テント張って、トリアージってのをやったよ。日赤は全国に支部があるし、495班も救護班を持っている大組織だからすごいんだぜ」

母 「DMATはもう700チームの教育を終えたって言っていたわよ。数でも負けているじゃない。あなた、初めての救護活動だけど、大丈夫なの？」

父 「うーん。実はそこが問題なんだ。日々の診療に追われて災害の勉強どころじゃなかったから、正直何をやってよいものやら。最近始まったと聞いている日赤本社主催の災害研修会にでも行っておけばよかったなあ」

太郎 「日赤って友達もみんな知ってるし、頼りにしてるよ。お父さん、頑張ってきてね！」

母 「あなたは、毎日の診療ではあんなに頑張っていて患者さんの評判もいいじゃない。大丈夫よ。自然体でやってくればいいわよ、きっと！」

父 「そうだな。じゃあ、とにかく行って来るよ！」

太郎・母 「行ってらっしゃーい！ 気をつけてね！」

さて、この父が自分のことだと感じた方は少なくないのではないのでしょうか？

さあ、これからの日赤の災害医療をみんなで考えてみましょう！